

「脳梗塞患者の尿道留置カテーテル使用に関する現状調査」について

山口県立総合医療センター看護部では、臨床研究倫理審査委員会の承認を受けて、院長の許可のもとで下記の研究を実施しております。内容を確認いただき、研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身やご家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合は研究の対象といたしませんので、2026 年 7 月 31 日までにご連絡下さい。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様は不利益が生じることはありません。

研究責任者：中野 正樹

- 研究の意義と目的

本研究は、当院 4 階北病棟に脳梗塞で入院となった患者様を対象として、尿道留置カテーテル（以後 UC とします）の使用状況、身体の状態、UC 抜去後の経過、尿路感染症の発生状況を調査し、UC 使用の現状を明らかにすることを目的としています。

- 対象となる患者様

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の間に、当院 4 階北病棟に脳梗塞で入院となった患者様です。

- 研究実施期間

院長許可後から 2027 年 3 月 31 日まで

研究者が対象となる患者様の診療情報を元に、データを収集します。集められたデータから、UC 使用に関する現状を分析します。研究は単施設での観察研究となります。

- 取り扱う診療情報

研究資料には診療録から以下の情報を抽出し使用させていただきます。

あなたの個人を特定できる情報は削除し、研究用の番号に置き換えてすぐに個人が特定できないように加工した状態でデータ処理し、個人情報漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

身体データ（年齢、性別、疾患名）、既往歴（脳卒中、心疾患、糖尿病、骨盤・泌尿器手術、前立腺手術）、退院・転院時の排泄状況、カテーテル関連尿路感染症（CAUTI）の有無、UC に関するもの：挿入時期、挿入期間、抜去の有無、再挿入の有無、導尿の有無、排尿に関する医師指示の有無、抜去時の安静度、皮膚トラブルの有無、等の診療情報

- 情報の保護

情報は山口県立総合医療センターの研究施設内で厳重に取り扱います。電子情報はパスワードで制限され、外部と遮断されたコンピュータ内に保存されます。

調査結果は個人が特定できない形で、学会発表する予定です。

- 問い合わせ窓口

この研究にご質問がありましたら下記までお問い合わせください。

山口県立総合医療センター

看護師 中野正樹（研究責任者）

感染対策室師長 山田恭子（研究分担者）

電話 0835-22-4411（代表） FAX:0835-38-2210